

施策分析シート（平成20年度）

No1

施策名	放置自転車対策の推進	施策No	08-04	部課名	土木部管理計画課		
				課長名	藤嶋敏夫	内線 2710	
関連部課名							
行政評価事業体系	分野	環境先進都市[]					
	政策	良好で快適な生活環境の形成[08]					
目的	<p>放置自転車は、鉄道駅周辺では減少してきたとはいえ、自転車利用のルール・マナーの欠如により依然として多い状況にある。</p> <p>放置自転車は歩行者の安全な通行や救急車などの緊急車両の通行の妨げになっているほか、公共空間である駅前広場等の機能低下や街の美観を損なっている。</p> <p>これを解決するため自転車駐車場の整備、ルール・マナー向上のための啓発活動の実施、放置自転車の撤去等の施策を総合的に実施し、安全で住みやすい街荒川区を構築していく。</p>						
指標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		17年度	18年度	19年度	20年度	目標値 (28年度)	
	放置自転車台数(一日当り)	2,144	1,447	1,300	1,200	1,000	放置自転車の減少が大きな課題・そして成果を確認
	駐輪可能台数(民間含む)	7,281	7,231	7,631	8,746	11,030	日暮里駅、熊野前駅等に駐輪場を新設
現状と課題 (指標分析)	<p>現在、駅周辺を中心として1日当たり約1,300台の放置自転車があり、歩行者等の大きな障害となっているため、その対応策に多大の税金を投入している。安全・安心して通行できる道路の確保、災害時の障害解消等の観点からより一層のルール・マナーの向上を図るとともに自転車駐車場の整備等を行い、放置自転車問題を解決することが大きな課題である。</p>						
今後の方向性	<p>《今までの成果及び指標分析を踏まえて》</p> <p>平成19年度末に、日暮里駅前に駐輪場が完成し、日暮里駅前の放置自転車クリーン作戦を徹底的に実施した。今後、放置自転車対策としてこれまでと同様に「区民の啓発活動」「撤去」等の対策を徹底する。特に、ここ数年減少してきた撤去回数を増加させ、積極的な撤去を実施するとともに、駐輪場が充足していなければ放置自転車の根本的解決にはならないので、今後鉄道事業者等に強く協力を求め、その実現に努めることを区施策の大きな柱として放置自転車対策に取り組んでいく。</p>						

施策の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	積極的に「区民の啓発活動」「放置自転車の撤去」を実施するとともに、駐輪場の確保に努める。

施策分析シート（平成20年度）

No2

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		18年度	19年度	前年度 設定	今年度 設定	
放置自転車撤去	10-01-09	70,308	75,971	推進	重点的に推進	現状を解決するためには強制的に撤去していく必要がある
自転車駐車場管理運営	10-01-10	20,361	29,251	推進	推進	区民サービスを基本に、円滑な自転車駐車場の管理を行う
日暮里駅前自転車等駐車場整備	10-01-11	355,641	846,741	重点的に推進	見直し	平成19年度で事業終了
合 計		446,310	951,963			